

15 文法概説

おなかが痛いんです

「～が痛い」という表現には、次の構文を用います。A の部分に、痛いところ(たとえば、頭、歯、胃など)を入れます。「A の中に痛みがあります」という考え方をしています。

(A meṇ dard hai) - میں درد ہے۔

痛みの程度を表現するには、「痛み」の前に程度を表す形容詞を置きます。よく使われるものには、以下のような語彙があります。

شدید (šadīd) ひどい、激しい

بہت (bahut) すごく

تھوڑا (t^horā) 少し

تھوڑا سا (t^horā sā) 少し、ほんの少し

کچھ (kuc^h) 少し、ちょっと

(mere peṭ meṇ šadīd dard hai) - میرے پیٹ میں شدید درد ہے۔

おなかがすごく痛いんです。

(kyā āp ke sar meṇ bahut dard hai) - کیا آپ کے سر میں بہت درد ہے؟

あなたは頭がすごく痛みますか？

(merī dāeṇ ān^h meṇ kuc^h dard hai) - میری دائیں آنکھ میں کچھ درد ہے۔

私は、右目が少し痛みます。

すぐによくなるでしょう(動詞の未来形)

ウルドゥー語の動詞には、現在形、過去形以外にも未来形の変化があります。この変化は、一部の例外を除けば、ほぼすべての動詞に共通の変化です。未来形の詳しい変化は、こちらをご覧ください。

未来形は、文字どおり、未来のことを表現する場合に用います。例文で確認してみましょう。

(ham garmī kī c^huṭṭī meṇ pākistān jāeṇ ge) - ہم گرمی کی چھٹی میں پاکستان جائیں گے۔

私たちは、夏休みにパキスタンへ行くでしょう。

کل میں یہاں نہیں آؤں گی۔ (kal maiṅ yahāṅ nahīṅ āūṅ gī)

明日、私はここに来ません。

کیا وہ جاپان میں کام کریں گے؟ (kyā vo jāpān meṅ kām karenṅ ge)

彼らは日本で仕事をするのですか؟

انشاء اللہ کل ملاقات ہوگی۔ (inšallāh kal mulāqāt ho gī)

明日、お会いしましょう。

پھر ملیں گے۔ (p^hir mileṅ ge)

ماتاں ائیماں ائیماں۔